

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」

無限の可能性



このようなマークを見たことはありますか。これらはいろいろなスポーツを表しています。（野球・サッカー・バレーボール・卓球・テニス・柔道）

このマークはピクトグラムと言って、言葉や文化が違ってても誰でも何を表しているのかが分かるようにした絵や記号です。皆さんには絵文字と言った方が分かりやすいかもしれません。このピクトグラムは、2021年東京オリンピックの時に使われたスポーツ・ピクトグラムです。では次のピクトグラムも分かりますか。

（バスケット・車いすバスケット、陸上・陸上（パラ）、競泳・水泳（パラ））

上の絵と下の絵の違いが分かりますか。下は、生まれつき、あるいは病気や事故によって歩けない人、足や腕がない人、目が見えない人など、体に障害のある人たちのスポーツで、オリンピックと一緒に行われるパラリンピックのピクトグラムです。

始業式の時にパリオリンピックの話をしていましたが、先週から障がい者の方のスポーツ競技大会、パラリンピックが開催されています。ここでも日本人の活躍が連日ニュースで流されています。一番最初に耳にしたニュースが、水泳男子 50m 平泳ぎの鈴木孝幸選手の金メダル獲得でした。

鈴木選手は生まれつきの障害でした。写真でも分かる通り、右腕は肘から先がありません。左手の指は3本です。また、右足は付け根のところから、左足は膝下からない状態です。ですから普段の生活にも不便なことが多いと思いますが、それでも鈴木選手は6歳の時から水泳を始めました。それから10年以上続けることで、17歳で初めてパラリンピックに出場することができました。そして何と、今回で6大会連続で日本代表となっています。6大会とは、20年間ずっと日本のトップでいるということです。そして、前回の東京大会では出場した5種目すべてでメダルを獲得するなどの活躍をし、今回も金メダルをとっています。

プールが苦手だという人もいると思いますが、皆さんは両足と片腕がない状態でプールに入ろうと思いますか。怖くてなかなかできないと思いますし、入れたとしても泳げるようになるとは思わないと思います。それでも鈴木選手は挑戦し、家族の支えや、周りの人の協力もあって努力し続けた結果、世界一になったのです。人は、できないと思って挑戦しなければそれで終わりますが、自分や周りの人たちを信じて続けることで大きく成長することができます。パラリンピックではいろいろなハンデのある人が、考えられないようなパフォーマンスを見せてくれ、人間の無限の可能性を教えてください。来週9日までやっているのです是非、見てみてください。